

【 投 薬 】

701 糖尿病治療剤とインスリン製剤の併用投与について

《令和7年10月31日》

○ 取扱い

2型糖尿病に対する次の糖尿病治療剤とインスリン製剤の併用投与は、原則として認められる。

- (1) ビグアナイド薬
- (2) チアゾリジン薬
- (3) スルホニル尿素（SU）薬
- (4) グリニド薬（速効型インスリン分泌促進薬）
- (5) DPP-4阻害薬
- (6) α -グルコシダーゼ阻害薬
- (7) GLP-1受容体作動薬

○ 取扱いを作成した根拠等

2型糖尿病は、過食や運動不足といった生活習慣の乱れに伴い、インスリンが相対的不足に陥った場合に発症する。

糖尿病の薬物療法については、「糖尿病標準診療マニュアル2025」に、経口血糖降下薬の単剤で開始し反応に応じて次のステップで種類の異なる薬剤を追加する旨、また、インスリンの適応か否かは各ステップでも考慮する旨記載されており、糖尿病治療剤とインスリン製剤の併用投与は臨床的に有用であると考えられる。

以上のことから、2型糖尿病に対する上記糖尿病治療剤とインスリン製剤の併用投与は、原則として認められると判断した。